

平成30年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

近畿ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に備えておくべき事項に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 未熟な作業能力
2. 豊富な知識
3. 現場を効率的にまとめるマネジメント能力
4. 日左連の資格認定を受けたもの

問題 2 登録左官基幹技能者認定講習会の受講要件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録左官基幹技能者
2. 10年以上の実務経験（左官職種）
3. 職長経験年数が3年以上
4. （一社）建設産業専門団体連合会において定めている資格等の保有

問題 3 登録基幹技能者制度の概要に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として認められ、経営事項審査においても評価の対象となる。
2. 近年、公共工事の「総合評価方式」での加点対象項目及び元請企業の「優良技能者認定制度」での要件としても活用されている。
3. 登録基幹技能者は、熟達した作業能力、豊富な知識、現場を効率的にまとめるマネジメント能力を備え、専門工事業団体の資格認定を受けた技能者である。
4. 登録基幹技能者の活用よりも、一級左官技能者の確保・育成に努める優良な専門工事業者の受注機会の拡大、さらにはそれを通じた建設業界の担い手の確保・育成が大きく期待されている。

問題4 (一社)日本建設業連合会(以下、「日建連」という)に加盟している元請企業団体における登録基幹技能者の評価・活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 日建連では、平成21年に発表した「建設技能者の人材確保・育成に関する提言」の施策の一つとして、優良職長手当制度を設けた。
2. 登録基幹技能者の中から、日建連会員企業が特に優秀と認めた者を優良技能者と認定することとした。
3. 日建連では、登録基幹技能者のうち優良技能者の標準目標年収が600万円以上となるよう努めることとしている。
4. 日建連では、登録基幹技能者であることが一定の能力を担保している目安とし、優良技能者としての支給条件としている場合が多い。

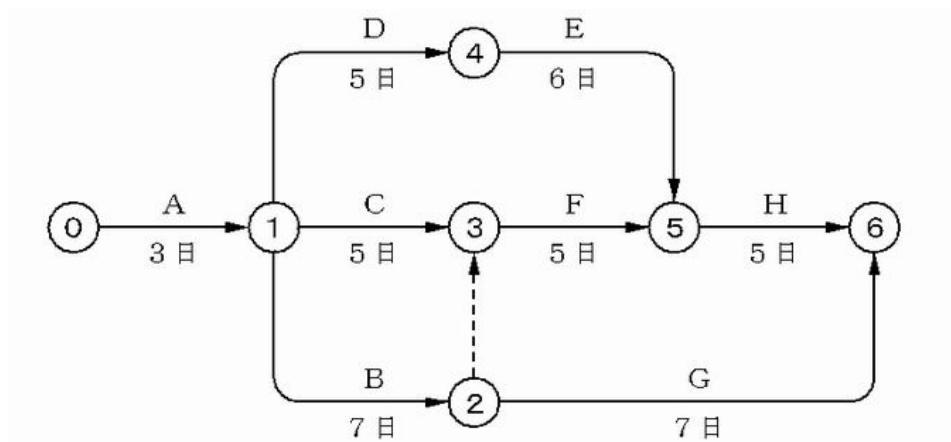
問題5 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力という観点では、一般の技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力を有すること。
2. 技術の進展等に的確に対応した知識という観点では、元請の技術者の示す施工計画等から、現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫の提案能力を有すること。
3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力という観点では、技術者、他の職長との調整能力を有すること。
4. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力という観点では、他職種の技能者に対する指導、統率力も有すること。

問題6 登録基幹技能者の初級・中級技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、上級職長の指導・教育を行うことが最も重要な役割となる。
2. 登録基幹技能者は、メインの安全教育以外に、実際の作業手順・方法、と言った現場作業に関する実務を指導しなければならない。
3. 登録基幹技能者は、それぞれの技能者の熟達度を判断して適切な配置、作業方法、作業手順、施工指示、指導を行うことにより、作業を通して初級技能者を中級技能者へ、中級技能者を上級技能者へと育て上げることが重要である。
4. 登録基幹技能者が、建設現場での実際の作業を通して部下の技能者を指導・教育することを、OJT(On the Job Training)教育という。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この現場の工期は、20日である。
2. クリティカルパスは、A→B→F→Hである。
3. Fの作業の最早開始時刻は8日である。
4. 作業②→③の点矢線は、ダミーであり作業日数は0である。

問題8 OJTおよびOff-JTに関して最も不適当なものはどれか。

1. OJTとは、「現場内教育」のことであり、現場において、管理者のもとで行われる教育訓練のことである。
2. Off-JTとは、現場外において、管理者のもとで行われる集合教育のことである。
3. OJTは、上司の仕事そのものである。
4. OJTは、指導者のペースに合わせて指導することが重要である。

問題9 建設業法における「工事材料の品質および検査」の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下請負人は、工事現場内に搬入した工事材料を監督員の承諾を受けずに工事現場外に搬出できる。
2. 下請負人は、工事材料については、使用前に監督員の検査に合格したものを使用する。
3. 工事材料につき設計図書にその品質が明示されていないものは、中等の品質を有するものとする。
4. 検査の結果不合格と決定された工事材料については遅滞なく工事現場外に搬出する。

問題 10 ブレーンストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BS は、5～7 人程度の少人数の集団で、ある人の意見やアイデアに関して他の人たちが連鎖反応を示し、多彩・豊富・独創的な考え方を引き出す働きがある。
2. BS のルールでは、他人の意見をしっかりと批判し、量よりも質を優先されることから、安心して誰もが自由にアイデアを述べることができる。
3. BS のメンバーは、専門家、他分野の専門家、ゼネラリスト等で構成することが望ましい。
4. BS におけるアイデアや意見に関する連鎖反応は、チーム全体の楽しさや競争心を生み出すことにつながっている。

問題 11 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 富調合による上塗りは、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りほど貧調合にする。
2. 下地の吸水が激しいときは、吸水調整材を 4～5 倍液にして下地に塗布する。
3. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、セメントモルタルを十分に乾燥させてから塗り付ける。



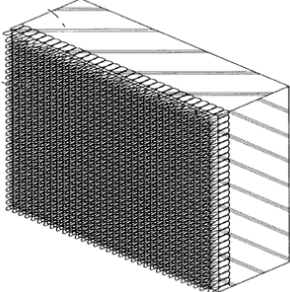
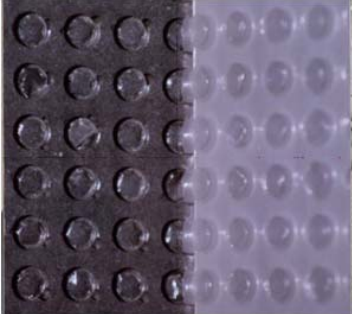
問題 12 JIS A 6909 (建築用仕上塗材) の仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 内装厚塗材Gとは、内装せっこう系厚付け仕上塗材のことである。
2. 内装薄塗材Cとは、内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材のことである。
3. 外装薄塗材Eとは、外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材のことである。
4. 内装薄塗材Wとは、内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材のことである。

問題 13 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. セルフレベリングとは、流しこむだけで平坦になる性質をいう。
2. グラウトとは、ひび割部にセメントペースト等の結合材を注入することをいう。
3. スラリーとは、液体中に細かい固体粒子が濃厚に混合され、かつ安定の状態にあるものをいう。
4. シーリング材料はひび割れや隙間を充填する詰め物の材料をいう。

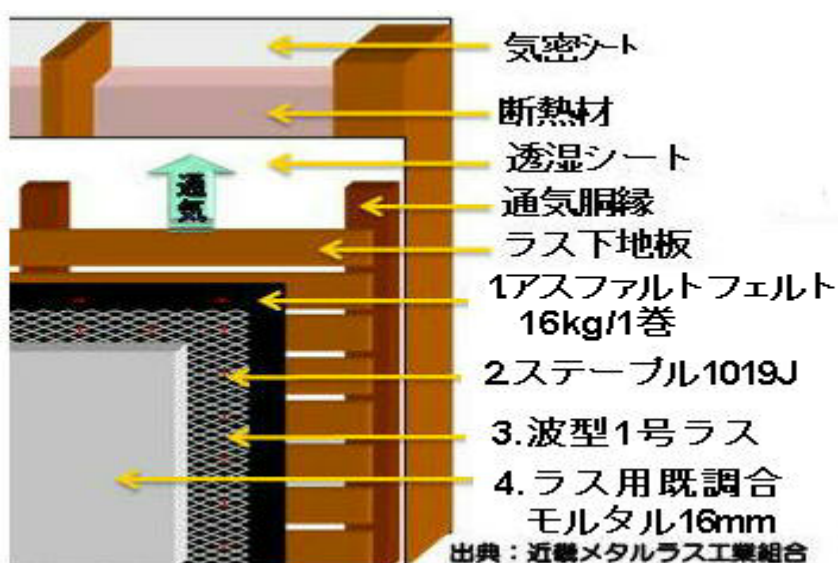
問題 1 4 コンクリート表面の処理後の表面状態と処理方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1.	<p>高圧水洗浄の例（吐出圧 50N/mm²）である。</p>	
2.	<p>カップサンダー掛け</p>	
3.	<p>専用シートによる起毛処理</p>	
4.	<p>専用シートによる凹凸処理</p>	

問題 15 左官下地に関して、下線部分で最も不適当なものはどれか。

凹凸が著しい箇所はつけ送りし、仕上げ厚が均一となるように不陸調整を行う。1. 下塗りに先立ち、仕上げ厚が均等になるように躯体面の不陸を予め調整するつけ送りは、躯体補修であり、2. 左官工事の仕様書の対象範囲外であることが JASS 15 で記載されている。しかし、実情は左官工事業者がつけ送りを行うことが多いこと。3. 他の仕様書につけ送りの具体的記述がないことから、JASS 15 に記載されている。4. 不陸調整として行うつけ送りは、1回の塗り厚を12mm以内とし、それ以上あるときは2回塗り以上とする。

問題 16 二層下地通気構法を示す図で、最も不適当なものはどれか。



1. アスファルトフェルト 16kg/1 巻
2. ステープル 1019J
3. 波型 1 号ラス
4. 既調合モルタル 16mm

問題 17 左官下地に関して、下線部分で最も不適当なものはどれか。

1. 既調合漆喰は、予め工場にて消石灰、糊、繊維、砂等を混合製造したもので、現場調合と比較し、品質が不十分である。2. 外部の使用では、耐久性維持のため、屋根底の出のある外壁、3. 瓦・水切り笠木のある外壁に使用されることが望ましい。4. 屋根底のない外壁等に使用される場合は、漆喰に油を混入するか若しくは、漆喰表面に撥水材を塗布する等の措置をとる必要がある。

問題 18 用語の定義で、最も不適当なものはどれか。

1. 白華とは「ブリージング」ともいい、レンガ目地、コンクリート等の表面に発生する結晶化した白色の物質のことである。
2. 硬化不良とはコンクリートが予定の日数を経て、十分に硬化する筈であるのに、全く硬化せず、壁や床の躯体としての性能の硬さに至らないことである。
3. コールドジョイントとはコンクリート打ち込み継続中、前の層のコンクリートを打ち込んでから相当時間経過した後に、次のコンクリートが打ち継がれたときに生ずる不連続面のことである。
4. ジャンカとは型枠解体後、硬化したコンクリートの表面に見られる、空隙の多い不均質な砂利の露出、凝集部分のことである。

問題 19 施工管理の概要に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画は、工事施工にあたり、請負契約書及び設計図書や現場条件などを検討し、どのように目的物を完成させるかについて計画するものである。
2. 安全管理は、第三者や作業員の安全を確保するために行う管理である。
3. 環境管理は、工事による騒音や振動、水質汚濁など環境に与える影響を最小限にする管理である。
4. 品質管理は、請負契約と施工計画から材料費、労務費、現場経費などの工事に関わる原価を算出し、実行予算通りに実施できるように管理する。

問題 20 資材の搬入計画に関して、最も不適当なものはどれか。

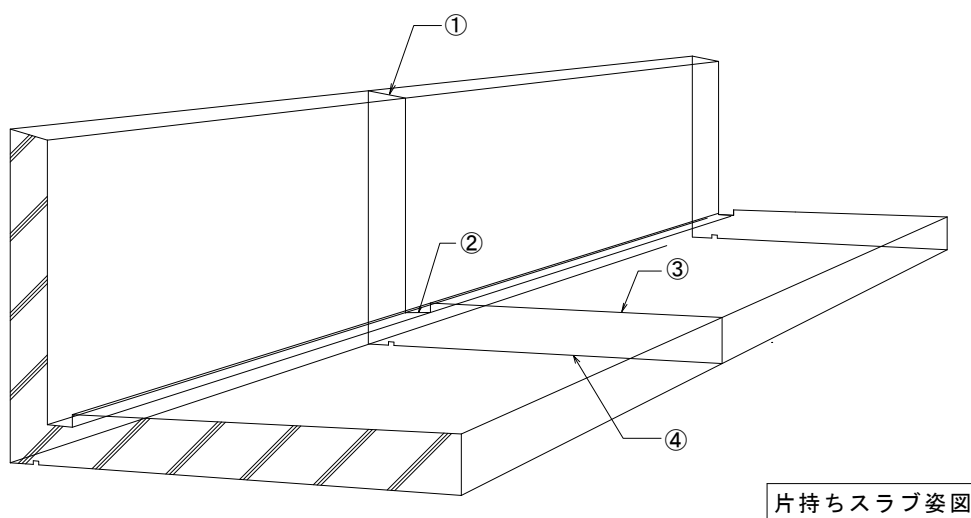
1. 搬入経路の状況（幅、高さ、床の強度等）を確認する。
2. 運搬車両の駐車位置を確認する。
3. 搬入資材の規格、仕様、材質等を確認する。
4. 搬入資材の重量を算出する。

問題 21 原価管理の流れに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 見積原価の管理では過去の実績等に頼らず、その都度、施工計画の検討、単価調査を行い、じっくりと時間を掛け、見積もり原価の精度を上げる。
2. 請負契約後に、現場条件に合わせた実行予算を作成する。
3. 実行予算は、施工計画と一体となって作成する。
4. 実行予算と実績を比較しながら、予算内に収めるように施工管理する。

問題 2 2 片持ちスラブに発生する伸縮クラック対策について、最も不適当なものはどれか。

1. ①の手摺天端部分は、雨水の侵入を防ぐために伸縮目地を設けない。
2. ②の溝内側は、最終的に塗膜防水を施工することが一般的ではありますが、伸縮目地を入れる必要がある。
3. ③の部分はスラブ天端に長尺シート等を貼る場合が多く、貧調合のセメントモルタルで目地を埋める。コーキング等の防水処理をしないのが一般的である。
4. ④の上裏部分は雨水の侵入の可能性が少ない為、コーキング等で処理する必要は無い。



問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の労働災害による死亡者数は、この 50 年間で 16% に減少した。
2. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では墜落による事故が最も多い。
3. 建設業は、他産業と比べて労働災害発生率が低い産業である。
4. 建設業は、製造業よりも安全対策が難しい業種である。

問題 2 4 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高さが 2m 以上の所で施工する足場組立には、作業床を設置する必要がある。
2. 解体工事では、石綿による健康障害防止対策を考える必要がある。
3. 居ながらリフォーム工事では多くの場合、電気やガスを止めずに行うので注意が必要である。
4. リフォーム工事は小規模な工事が多いため、安全対策は特に必要がない。

問題 2 5 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 複数業者が混在する 50 人の建設現場の 2 次下請け業者では、安全衛生責任者を選任する必要がない。
2. 型枠支保工の組立作業は、作業主任者を選任しなければならない作業に含まれる。
3. 安全管理を進めるために、「ヒヤリ」「ハット」の芽を摘み取ることは有効である。
4. 元請業者は、新たに就労する作業員に対して新規入場者教育をおこなう必要がある。